

平成 29 年 1 月 20 日

安曇野市長 宮澤 宗弘 様

安曇野市議会

議長 濱 昭次

安曇野市新総合体育館建設について（提言）

安曇野市議会では、新総合体育館の建設に対して、平成 28 年から全員協議会、政策討論会議で協議を始め、平成 28 年 8 月には議会基本条例に基づいての市民の意見を聴く会を開催し市民との意見交換を行ったうえで、議論を重ねて参りました。

また、福祉教育委員会では、この件に関して平成 28 年 6 月から委員会の継続調査として委員会での協議や他市施設の視察を行い議論を深め、意見要望としてまとめた報告書が提出されています。

福祉教育委員会の報告書や平成 28 年 11 月に発表された、新総合体育館整備基本計画（案）の説明を受け市議会では、更に各党派での協議や全員協議会で議員間の議論を進め意見を取りまとめて参りました。

つきましては、市議会として新総合体育館建設についての意見を、次のとおり提言します。

記

（合意された意見）

- 1、トレーニングについては、民間でできるものは民間に任せ、維持管理費の圧縮の点からトレーニング機器は不要と考える。
- 2、施設経営については、市の直営と指定管理者の比較を十分行い検討する必要がある。
- 3、維持管理費、施設整備費については、今後の財政状況や将来負担を考え、出来る限り圧縮するよう検討を望む。
- 4、合併特例債発行期限である平成 32 年度までには、必ず完成するという担保を示すこと。

(個別の意見)

- 1、総事業費については、38億円を上限とし床面積7,300 m²以下とする。
- 2、財源については、社会資本整備総合交付金やスポーツ振興くじ助成金等の補助事業を有効活用し、合併特例債と併せて一般財源を縮減する。
また、社会資本整備総合交付金の要件は、防災拠点の位置づけ及び面積が10ha以上であるため、土地の早期確保が前提である。
- 3、市から示された総事業費38億円を超えないように、入札においては物価スライドを考慮し総合評価方式が望ましいと考える。